

マルチスペクトル画像と可視画像の比較



図 1

図 2

<解説>

- ・ マルチスペクトル画像（図 1 左）では、植物が光合成を行った後の反射光を観測することで、葉の健全度の状態を把握できます（赤色：光合成の活性が高い、緑色：光合成の活性が低い）。
- ・ これを用い、可視画像（図 1 右）で判別しにくい立ち枯れをマルチスペクトル画像（緑色）で明確に判別することができます。
これにより、立ち枯れした樹木を早期に発見し伐採が可能となることで倒木事故の未然防止につながります。